

中尾小だより

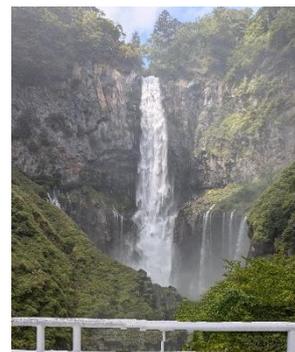
〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL 048-873-0216 FAX 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「自然との共存」

校長 小長谷 雅彦



9月12日から13日に6年生の修学旅行に行ってきました。雨学年と呼ばれ、いろいろな行事で雨がが多く、昨年のたかつえ自然の教室でも3日間とも雨だった学年ですが、初日の夕方以外は天候に恵まれ予定した活動は滞りなく行えました。6年生は、態度がよくみんなで助け合って活動し、至る所でお褒めの言葉をいただきました。連日の雨で戦場ヶ原ハイキングの歩道はかなりぬかっていますが、そのおかげで心配された中禅寺湖の水位も上がり、滝の水量も多かったです。特に華厳の滝は近年まれにみる水量で大変迫力のある景観でした。これから多くの学年で社会科見学や遠足が予定されています。学校では体験できない活動や見学を、楽しく安全にしてほしいと思います。



さて、前述した修学旅行中の2日目の朝、隣のホテルの玄関付近で草を食べている2頭の鹿がいました。(左写真) 6年生の児童もみんな見られたと思います。私自身、いいものが見られたと思って写真に収めました。しかし、改めて考えてみると人間が近付いても逃げないことやバスの中からもたくさんの猿が見られたことなど、今まで人間と適度な距離を保っていた動物が、以前より私たちの生活環境に入り込んでいることに少しの恐怖も覚えました。春先の全国での目撃情報や襲撃事件など、熊が人間を恐れなくなっているといわれています。山の食糧事情の変化ともいわれていますが、日光でも熊の出現のニュースがありました。動物と仲良くしたい・近付きたいと思う気持ちもありますが、やはりある一定の距離感をもって動物たちに、人間は怖いと認識してもらうこと、生活する環境は別であることなどを考えていかないと、共存は難しくなるのではと思いました。自然との共存のためには、気候変動やそれに伴う諸所の課題に目を向けて対応していかなければならないと強く感じました。

暑い9月が終わり、やっと涼しくなってきました。11月2日に行われる運動会の練習も始まっていきます。将来的には、日本の気候は長い夏と短い秋になっていくと予想されているようですが、今は、爽やかな10月の素敵な秋の夜長を過ごしたいものです。